

歴民だより

歴史民俗資料館

平成 30 年度 8 月号 No.58

息づく庶民の知恵

昔の民具 (安八町郷土資料庫 蔵)

ラジオ



大正後期～

放送の歴史は、まずラジオから始まりました。しかし、最初のころは電波がとても弱かったため、きれいに聞こえるようにするのは大変でした。現在では、テレビで見るほうがあたり前のドラマや歌番組も昔は音だけで楽しんでいました。

時代が進むと受信機の性能も高くなり、スピーカーのついた大きな音の出るものが作られるようになりました。それによって、ラジオ放送は家族そろって聞くものになっていきました。

でんわき 電話機

19世紀終わり、日本で初めて電話が使えるようになりましたが、とても費用がかかったため、一部の裕福な家庭しか電話を置けませんでした。このころの電話は、電話機についている取っ手を回して電話局の交換手をよびだし、相手の番号を告げてつないでもらっていました。市外への電話などは何時間も待たされることもありました。

1960年代（昭和30年代）ころには、電話を置く一般家庭も増え、どの地域でも交換手の取り次ぎなしに電話がかけられるようになったのは1979年（昭和54年）のことでした。



明治時代～

ハートピア安八
- 歴史民俗資料館 -

住所：岐阜県安八郡安八町氷取30
お問合せ：0584-63-1515